

教育学部教授

実川恵子先生 最終講義のご案内

来春3月をもって教育学部教授 実川恵子先生がご退職なさることとなりました。つきましては、国語研究室〔文教大学国文学会共催〕では、「最終講義」を下記のように企画しておりますので、ぜひご来場ください。

**日時：令和2年1月25日（土）
午後13時00分～**

場所：13号館2階 13202 R

**演題「わが愛しの歌人たち
— 曾禰好忠と和泉式部 —」**

【実川恵子先生プロフィール】



実川恵子先生が、来年の三月末日をもって退職されます。文教大学の前身である立正女子短期大学で教師としての第一歩を踏み出し、その後、文教大学付属中・高等学校、文教大学女子短期大学で教壇に立たれ、2003年に現在の文教大学教育学部国語専修に着任されました。のべ、40年（うち国語専修では17年）にわたり、様々な形で本学園を支えてきてくださったこととなります。

ご専門は日本の古典文学で、中でも後拾遺和歌集を中心とした和泉式部など女流歌人の革新的な歌風、和歌文学から平安朝物語文学への変容などを研究されています。大学では、学部の古典関係の授業から時には絵本に関する授業まで担当され、国語専修主任、1年生担任として教室運営に、文教大学国文学会会長として学会運営に、またアメリカ学校教育研修や農業体験の引率などの様々な学生指導にもご尽力いただきました。

先生の授業には「古典への愛がある」と学生たちは言います。そして学生たちへの愛があります。先生の語り口調は大変に情熱的で、一語一語に込める熱量があります。多くの学生たちが、先生の指導と人柄に惹かれ、古典の奥深い魅力に気づくことができたのではないのでしょうか。

残念なことに、実川先生の本学での講義もこれが最後となってしまいました。多くの卒業生、在校生のご来場をお待ちするとともに、先生の新たな出発をお祝いしていただきたいと思います。

国語専修 萩原 敏行

文教大学国語研究室・文教大学国文学会共催

お問い合わせ先：教育学部 国語研究室

国語研究室直通

TEL & FAX 048-974-8905